

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について
 (令和2年度第3報)

名取市，岩沼市，大崎市，蔵王町，丸森町，山元町及び色麻町で採取されたイノシシの肉及び加美町で採取されたツキノワグマの肉について，放射能物質の測定を行ったところ国の基準値（100ベクレル/kg）を超えるものではありませんでした。

なお，ツキノワグマ肉及びイノシシ肉については，平成24年6月25日付で，県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており，現在も継続しております。

記

1 測定結果

(単位：ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所	放射性セシウム		捕獲年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値		
イノシシ	刈田郡蔵王町宮	48.8	100	R2.5.27	R2.6.9
	伊具郡丸森町大内	19.1		R2.5.27	
	大崎市鹿島台平渡	13.5		R2.5.28	
	伊具郡丸森町耕野字川前	86.6		R2.5.30	
	名取市高館	24.1		R2.5.28	
	亘理郡山元町久保間	12.1		R2.6.1	
	亘理郡山元町久保間	14.1		R2.6.1	
	加美郡色麻町黒沢字切付	17.2		R2.6.3	
	岩沼市志賀	12.4		R2.6.1	
ツキノワグマ	加美郡加美町鹿原小山	15.8		R2.6.6	

※ 次のURLから，野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。
<https://www.r-info-miyagi.jp/r-info/archive/> (みやぎ原子力情報ステーション)

- 2 測定年月日 令和2年6月9日
 3 検査機関及び検査機器 株式会社 理研分析センター
 ゲルマニウム半導体検出器
 4 検出下限値 6.17 ~ 9.77 ベクレル/kg

(参考)

- (1) 不検出
 放射性物質の濃度が，検出下限値に満たないことを指します。
- (2) 検出下限値
 当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し，測定ごとに異なります。
- なお，測定値及び検出下限値は，セシウム134及びセシウム137それぞれの値を合算した値であり，測定の結果によりセシウム134又はセシウム137のどちらかが不検出の場合などでは，測定値が検出下限値を下回る場合があります。